



郵便振替 小樽 1-570 加入者名 あいら札幌

No 157	あいら札幌連絡先 細田美理子 244	通信担当 谷 百合子
--------	-----------------------	---------------

今月のよめみ	
2月例会報告 ..... 1.2	安積純子さんの ..... 6
共に生き共に ..... 3	お話
学ぶと学び ..... 3	核燃との大阪会 ..... 7
猫の愛難 ..... 4.5	情報・例会案内 ..... 8

1991. 2. 29日発行

# 「従軍慰安婦と私」

# 2月

## 「日本の戦争犯罪を考えるつどい」参加記

# 報告

2月例会は、例会日と集会が重なった為、振りかえて集会に参加した。市民会館1号室は、会場に入れない人、中で立っている人の山。社会党の女性議員、市民ネットの議員など、沢山の来賓を代表して、横路美喜さんが挨拶して、参議院議員清水澄子さんの基調講演に入った。

### 清水澄子さんのお話から

<清水さんは早くから国会で従軍慰安婦問題で質問。アジアの平和と女性の役割シンポジウムに参加>

先ず、日本は歴史の認識が甘い。アジアからは戦争責任の甘さを、アメリカの新聞からも、「日本人は軍部が悪いのであって、国民は戦争の被害者だ」と思うことで相殺している」との指摘がある。同じ次元で被害者だと思えることと、アジアが批難されているのに気づかない。恐しいことだ、という意見が清水さんからあった。

12月6日「韓国・太平洋戦争犠牲者遺族会」35人が東京地裁に、日本国と相手に補償を求めて提訴したか、原告として元従軍慰安婦にされた3人の女性が加わった。原告の1人、キム・ハクソンさんは、「今回日本に来るのがとてもイヤだった。日の丸を見た時も、星を見た時も、ふるえかきとまらなかった」と言う。

朝鮮に対する日本の植民地支配の迫害は他に例を見ない。それは、朝鮮人の種の絶滅を計るといふねらいのもとで、軍隊の朝鮮人差別意識を助長し、軍をなだめやす手段として従軍慰安婦になる女たちへの略奪が、

またのである。日本からは娼妓と呼ばれる女たちが行かされたか、皇軍兵士の送り出しにすることは病気が多い、

天皇からの賜り物とするのには「いかかわい」。病気の無い朝鮮の女がいい。軍が反抗するから早く「女をくれ」ということで、処女狩りだけでなく、女である限り、10才から70才まで、すべて強姦した。1000人の女を4、5日で集めろという命令が下り、農村をとり囲んで、乳のみ児を抱きかかえる母親もひきはなし……。 (書いていて怒りにふるえる事案かあとと切らない)

日本の男は彼女たちを衛生的な公衆便所と呼び、兵士29人に女ひとしという割で、性・民族と、二重差別を行なったのである。

日本政府にも「恥」というものがあつたのか、従軍慰安婦に関する、これらの資料をなんと、5日間も燃やし続け、歴史から消そうとした。そして、今だに、日本政府は「つぐない」とは言わない。つぐないなき謝罪は許せないと清水さんは言う。

朝鮮の命断の悲劇は全て日本の責任である。子度隷は日本の軍隊をどう解体するかで、祭生し、米ソ冷戦に、更に巻き込まれていったのである。

紙面が足りず、全て書ききれないが、最後に、福沢諭吉の「脱亜論」を思いおこしてみたい。「アジアの朝鮮と、日本はつきあつてはいけない。アジアの野蛮な国と貿易してみても意味はない。アジアの貪い者と交つてはいけない。ヨーロッパ人と手をつなげ」諭吉の思想は今も日本の野蛮な男たちに立派に継承されている。



清水さんの講演のあとに、在日朝鮮人の妻<sup>カンジンジャ</sup>春子さんと在日韓国人の<sup>キョジョネ</sup>金貞礼さんのお話があつた。私はこのお二人の話をちっと聞きたかつた。金さんはあじらの例会にかいらして頂いたが、その時の衝撃的なお話は耳から離れない。今回はお次ともゲストだったので短時間だったから、彼女たちと共に考える会を持っていきたいと思う。

女が主催でやる会なのに、どうして来賓とか、花束贈呈の<sup>カン(?)</sup>だったけど、400人も集まるには、それなりの組織とか、ヤリオがあつたでしょうね。もうちょっと、「ひらば、でやれたらいいね。講演後、会場から小樽のS牧師の発言があつた。「清水さんは十分ご承知でしようが、従軍慰安婦は過去のことではない。私たちは過去をつぐなえは、それでいいのではない。キーセン観光など、アジアへの性の侵略行為は今も続いています。このことを抜きにしてはいけません」という発言があつた。講演中もやもやして、たのから、スツとしてま先に拍手した。自問が、今アジアの人と、どう関わっているのか、それを抜きにして過去は考えられない。

地域で  
学校で

# 共に生き共に学ぶということ

「...みんなが教室で学校祭の相談をしている時、私は廊下にポツンと一人はしゃいで。私もみんなと一緒にワイワイ楽しく、自分の出たものを決めたり、意見を言ったりしてかたごころ。・・・」

留萌中学1年の山崎恵さんが普通学級を希望してはもかかわらず、今までの中学校にはなかった肢体不自由児の特殊学級に入り、そこへ入らされて入られた。彼女は今、「教育を受ける権利」を侵害されたこと、裁判を争っている。こぼれあつた前のこと、どうして裁判を争わなければならぬのだろうか。この子も等しく、教育を受ける権利があるのに...

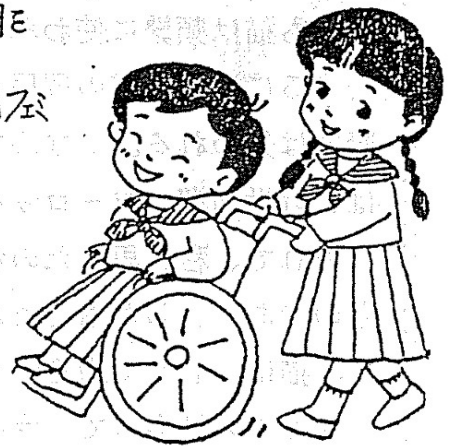
恵さんの事を知った時、とても、ひどい、とは思えた。同じ中一、お友だちもつ母と、かつ、中学生だったこともあつた一人の人間として、反響がとんぱに大い。

留萌市教育委員会は「障害」の種類や程度に応じて特殊教育を勧め、強行してワケがある。思考に「障害」を考へているのは市教委の方である。「普通学級で学べないという障害」は社会が作り出す障害である。一口を言うなら、エレベーターのない建物の障害にたつている、ということだ。この集會に参加し、いろいろな人の意見を聞く

中、それだけわかつた。ちと脱線するが、昨年、高校教師を辞めた、お友だち活動家として、所沢市議にたつ、中島里美さんは、今年度の予算要求で、「障害者(児)が学校生活を守りしにすべし」と、校内にエレベーターの設置、障害者(児)のクラスは複数担任も、等々項目を

提示している。里美さん、都議の三井アツ子さんが中一にたつ。今月、全国を二つに議連盟を発足して、生活に根づいた、基本的人権を守る政策をどんどん進めたい、と期待大である。... 脱線あつた...

熱心な討論があつた。交流会場には席を和らげた。中学生が二名交流会に来た。彼らの間には恵さんが、つらい現実のあつたあつた。とても明るく、元気に、見えて、こちらが励まされた。



(芳恵・記)

# 猫の受難

～性暴力について～

柊



数カ月前になるけど、職場の病院で帰り際ドクターにお尻をポンとたたかれた。それだけなんだけど、私ははっきり言ってショックだった。以来、そのドクターが手の届く範囲に来ると身体が緊張する。他のドクターや職員なら何ともないのに、そのドクターがそばにいと冷や汗が出てくるような感じで、頭では考えてなくても身体はこわがってる。まあ、めったにうちの部署には来ないから、いいんですけどね。

性暴力の被害って、いかにもって感じの直接的な性暴力にはあっていないからその女には被害がなかった、とは言えないと思うの。だって女って常に襲われやしないかとびくびくしてなきゃなんないのよ。そのストレスたるや、被害と言わずして何としましょう。言ってみれば、女は頭上に天井から細い紐で剣を吊るされているようなものだと思う。いつ剣が頭上に落ちて来ると常時ひやひやしていなくちゃいけない。いつ危険に会うかわからないという意味では、男の頭上にも剣はぶら下がっていると思うけど、性暴力に関しては、剣が落ちるぞ、危ないぞと四六時中脅されている女と、頭上の剣が存在しない、または存在を知らされていない男とでは、ストレスの度合いは違い過ぎるくらい違うと思うわ。

この状況は、女の責任でも女の宿命でもないと思う。

「猫の大虐殺」という本の中に出てくる、近世初期のフランスでの猫にまつわる話を思い出しながら、そんなことを考えていた。



その時代、猫は魔力を暗示し、またセックスとも結びついており、ペットとしてかわいがられる一方で、迷信的なまじないや民間医学(!)にも、ごく一般的な儀式や風習にも猫は頻繁に使われ、しかもかなり残酷な扱いを受けている。『猫の魔力から身を守るには、…猫の尻尾と耳を切り、脚を一本叩きつぶし、毛皮を引き裂くか焼けば、魔力は失われる。』なんて、もうめまいがしそうです(『動物、特に猫を虐めることは、近世初期のヨーロッパに広く流行した娯楽であった。』というのもこわい)。

それで、私、思ったのね。猫はいじめたり、殺したりして楽しむもの、有用に使うものであり、しかもそれが悪いことではなく、当然のことと人々が考えている世界では、猫は安心して道を歩くこともできやしないだろうなあって。

私たちの社会って“女は襲われて当然”って社会だけど、それって“女は性的に弄ぶもの、何をしてもかまわないもの”って思われてるからだと思うな。

許されている欲望を我慢するのは、許されていない欲望を我慢するより難しいことだと思う（好物を食べずに我慢するという場合、それが他人のものだとか、毒入りだとかいうときより、食べてもいい自分の分を自分の意志だけで我慢するという方がよっぽど難しいと思うもの）。許されているどころか、男はむしろそれを奨励されるんだもの、それが男らしさだとかなんとかいて。“男の性欲の強さ”のせいなんかじゃないと思うわ、その我慢のできなさは。

結局、女がたやすく性暴力の被害にあってしまうのは“女は性的玩弄物であり、弄んで楽しむことは悪いことではなく、当然のこと”であり、そういう存在として女を位置付けるという認識が社会に(男に)あるということがひとつの大きな原因になっていると思う。

女の側の要因というのも確かにある。でもそれは、女が挑発的な格好をしていたとかそういうことじゃない。ひとつには女が従順を良しとして育てられ、自己を主張できない、することを許されていないということ。さらには、女である自分は価値がない存在だという低い自己評価（そしてそれは、自分の要求や感情は尊重される価値のないもの、受け入れられなくて当然という思いへつながっていく）。女が被害を受けやすい、そして女に差別を受け入れ易くする素地は女の育てられ方にもあると思う。

だから、女が性被害に会わないためには、“女が気をつける”ことではどうにもならず、根本的には、社会の(男の)認識を変えることが必要なのね。

女が(女だけが!)夜道を一人で歩けない社会というのは当たり前なんじゃなくて、不当に、人為的に作られた社会なんだから。



右のカットはマンガサクルの会報表紙担当時に描いたもの。

眼をふさがれ、耳をふさがれ、両足をちがれ、痛情的なうすもの下着一枚のみ着用を許された。作りもののボディをもた「人形」——この人形はよりそう「少女」の似姿として存在している(後からつくられたのではなく)。

描いた当時は意識してなかったけどこれは私の認識しているところの「女」の状況なのかもしれない

——これは「私」なのかもしれない。

# 安積純子さんと会えた！

谷百子

「障害者はどうしてホッピンとはなれて生まれてくるのか、それは人固は愛だということ。愛とかわしあいながら生きるのわ」ということを教えるために、そうして生まれてくるのです」

車椅子の安積さんが、この言葉をやさしく私たちに語りかけるまでにどんな大変な道のりがあったのか... 涙があふいた。

六ヶ所の女のテニ場で友達になった郡山のけいさんの養護学校で音楽の授業をするために2月、小さな旅をした。「平市で安積さんのお話があるから来てね」とのこと。どんな人か分からず会場へ行った。

「そよ風通信」という、いわき市の障害者の人たちで出している新聞の1周年記念講演に安積さんは来ていた。タイトルは「ありのままの自分で生きる」「障害者差別とアビズム」というものだった。

彼女は56福島に生まれ、養護学校に入学した。か「すみません」という陰の部命で生きなければならぬことに耐えられず、中二で普通学校に転入。しかしそこ天国ではなかった。高校は「青い芝の会」と出会い、通信教育を受け、やっと自命の場を得た。「障害は一つの個性である」と思えるようになる。28歳でアメリカに渡り、アビズムと出会う。

その時のエピソードはスゴイ！ 彼女は世界中を飛びまわって、障害者の施設と見てまわっている。スウェーデンは女性が無償学位行くとやめてから行政がよくなり、現在は行政主導の福祉だという。養護学校とどんな廃校にしている。重度の人は廊下でなく、教育の段階からの差別と許さぬという国民的意識が高い。湾岸戦争でも物販とととと送。西ドイツも子どもに泣き声がかみさせて熱帯雨林の資金と送っている。又、彼女はCoカウニング"とてはるか、理性と感情について、理性ばかりはめて感情を弾圧してきたわたしは、気持ち解放するトレーニング"とては、子どもに対して、人は子どもということに抑死している。強制的につけと...。傷ついたり、つけという手段で自命の傷と子におしつけたり...。又、若い人への差別をしたり...。安積さんとCoカウニング"をしよう！

旭川 4月  
札幌 日記

# 核燃止めた女のついで大阪

あ〜ん。にほんのどこかに。私をまってる子がいる〜ン。♪百恵ちゃんの歌はヘテロっほいいけど。私はこのごろますますズレビ"ア〜ン(ズレにふれないズレビ"ア) いい女がいるところ。とくに反原発やってるフェミニストがいるところならどこでも行くと。ついにオーサカまで行ってきた。北は札幌。南は屋久島と60人の女が集合!

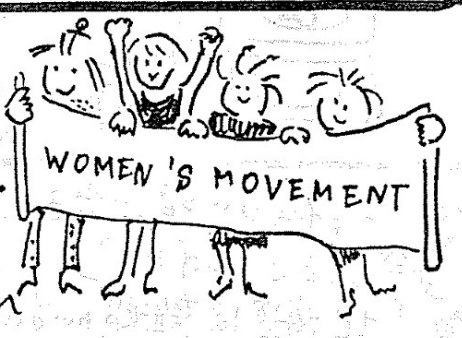
女谷百恵子

大阪のせたちは何を留意してくれているのかととても楽しみだった。

その日は、ほとんど遊び...といつも奥底には深い知識と経験がひた隠しにされて、様々なカウンセリングと非暴力トレーニングの手法による「ワザ」ありと見た!  
「核燃止めた♡」から♡をとるために、直感・山勘・オ6感・思いつきの嵐で奇想天外なんでも出さあう。私たちは余りにも自分を(は)りつけて行動しているからとて、もともとらたけ。そこはせたち、すべにのらたけ。

- ① 原発止まるまで"女"はSEX拒否をする...確認方法がないのでボツ。
- ② 社長の愛人になつてみんな手とほってやめさせる...愛人というのは頂けないとボツ。
- ③ アウトプットの搬入道路に、ドラム缶を埋め、  
生首を出して列で埋め、人柱になる } ...かなり具体的に進んだけど、けっさよくこれは男のやり方だ、というのでボツ。

やりたいことを否定しない。人の意見も否定しない!  
発想を大切にしてい、くことか"元気"になるんだ!  
夢のような(アホのような)話もみんな聞いてくれるうらやましい。  
「わたしかやれること、やること、実践の嵐ではかなりイイ線か出た。え?何か決まったから?敵に知られちゃアカンよって秘密ですネン。



▲▲ (かし、各地からの報告はどれも凄まじく。福島では双葉町か...厚祭増設の議会議決。宮崎もできそう。反し浜も...知れば知る程恐い話ばかりでした。

◎◎ 24日は関電のランチタイムに参加。女たちで26日にいつか昼どきにやってアピール(たり)1円玉でお金払ったりしている。今日は2日すれば「約束が違うじゃないですか」だ!

みんなで1のく歌ったりアピールしたりおどいたりしたあと、最後に関電の皆さんから「1日はやく原発をやめれるように、いっ気と送ります」と手かざしをしてきました。

